

関係各位

海洋気象学会 学会活動終了のお知らせ

陽春の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年春にお知らせしましたとおり、海洋気象学会はこの3月をもって活動を終了いたしました。

1921年に前身である「時習会」が海洋気象台職員を中心に神戸の地で創設され、1930年に「海洋学会」、1944年に「海洋気象学会」と名称を改めつつ、学術活動を進めてきました。創設時からの「海と空」に加えて「海の気象」を1955年から刊行、さらに地の利を活かした「日本船長協会」との共催の『船舶気象懇談会』の開催など、海事関係団体との交流を活発に行うなど、活動の幅を広げてきました。1952年に初めて刊行され、その後改訂もされた「瀬戸内海の気象と海象」は、地域的な強みを持ち、かつ横断的に専門家が集う海洋気象学会の特徴をまさに体現したものであり、高い評価を得ています。

しかし、近年に至っては学会活動の停滞が顕著となり、改善に向けた取り組みにも状況は好転せず、ここに九十余年の歴史に終止符を打つこととなった次第です。

活動の終了にあたっては、学会の最大の成果物である機関誌、刊行物が未永く保存され、容易に入手、閲覧できる環境を整える必要があります。「海と空」・「海の気象」の両機関誌は、国立国会図書館と気象庁図書館に保管され、閲覧することができます。加えて、国立国会図書館の電子閲覧事業に応じたことで、「海と空」及び2013年刊行の「瀬戸内海の気象と海象」は、国立国会図書館HPから電子媒体の形で入手することもできます。しかし、「海の気象」に関しては、著作権の制約等から電子媒体での公開はできませんでした。

2014年度臨時総会での決定に基づき、学会理事長を長とする運営整理委員会をこの4月に立ち上げ、二年間、学会HPの維持、問い合わせ対応等を業務委託で行ってまいります。

略儀ではありますが、書面を持って学会活動終了のご挨拶申し上げます。永きにわたり当学会の活動を支えてくださいました会員諸氏にあらためて感謝申し上げるとともに、海洋気象に引き続き関わられる皆さまの今後の一層のご活躍を祈念いたします。

平成28年4月

海洋気象学会運営整理委員会委員長

(元海洋気象学会理事長)

北村 佳照

連絡先：

〒550-0001

大阪市西区土佐堀1-4-8 日栄ビル703A (有)あゆみコーポレーション内

e-mail : umitosora@k2.dion.ne.jp

海洋気象学会 運営整理委員会

委員長	北村 佳照（元 気象庁）：元 海洋気象学会 理事長
委員	石田 廣史（大島商船高等学校）：元 海洋気象学会 会長
委員	今西 邦彦（日本船長協会）
委員	轡田 邦夫（東海大学）
委員	永井 千春（大阪管区気象台）

（五十音順）